

# ロータリーは世界をつなぐ ROTARY CONNECTS THE WORLD

2019-20年度 RI会長／マーク・ダニエル・マローニー

RI.D2590ガバナー／轟 淳次

横浜旭RC会長／佐藤 真吾

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp  
例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
(株岡田屋 3階会議室)  
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント



在日外国人日本語学習支援



チャリティーコンサート

2019年9月11日 第2397回例会 VOL. 51 No. 9

- 司 会 副 SAA 目黒 恵一
- 開会点鐘 会 長 佐藤 真吾

会員数	27名	本日の出席数	24名
本日の出席率	88.89%	修正出席率	100%

### ■本日の欠席者

青木、北澤、宋

### ■他クラブ出席者

福村 (横浜戸塚 RC)

### ■ビジター

広瀬 圭様

(横浜瀬谷 RC・地区インターアクト委員長)

### ■会長報告

皆様こんにちは。先週の例会に引き続き、今日の例会も暴風雨被害の件からお話しする事になってしまいました。8日夜から9日にかけて猛威を振るった過去最強クラスの台風15号の被害は、横浜市内全域に及んでいます。各地で倒木や道路の冠水のほか、家屋の損壊や崖崩れが相次ぎ、屋内でも浸水や停電に見舞われています。飛んできた物が頭にぶつかるなど、けが人も出ています。横浜市によると、市内の住宅被害は全18区で確認され、341棟の一部損壊が報告されています。市内ではこのほか、12棟が床上浸水、5棟が床下浸水。公共施設や事業所などの被害も40棟以上に上っており、ブロック塀の倒壊も相次いでいます。中区の山下公園前では、乗り場の栈橋に係留されていた旅客船「シーバス」2隻のうち、1隻が沈没。一隻は係留策が切れて港内を一時漂流したようです。被害に遭われた

多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、今日9月11日は、日本人24人を含む計2977人が犠牲となった米同時多発テロから18年となります。2001年9月11日朝、4機の旅客機が乗っ取られ、2機がニューヨークの世界貿易センタービルのツインタワーに突っ込み、崩壊。別の1機はワシントン近郊の国防総省庁舎に激突。残り1機がペンシルバニア州に墜落しました。当時のブッシュ政権は、国際テロ組織「アルカイダ」の犯行と断定。報復として、10月にアフガニスタン攻撃に踏み切りました。

実は、この米国同時多発テロ事件の被災者と東日本大震災の被災者がロータリーを通じて交流している事を皆様ご存知でしょうか？

ここに、My Rotaryからロータリーニュース2014年9月29日掲載記事をご紹介します。いただきます。

### ◆「心の復興を」～東日本大震災と同時多発テロの被災者が交流

東日本大震災から3年半。がれきも取り除かれ、外見的には平常を取り戻したかのように見える東北被災地。一方で、災害が人びとの心に残した傷は深く、「メンタルヘルス後進国」と呼ばれる日本では、話しを打ち明けることもできずに、悲しみや苦しみを心の内に抱えこむ人が少なくありません。

「被災者がまず、自分たちのことを仲間に話せるようになることが、悲しみを乗り越える第一歩」 こう話すのは、ニューヨーク近郊にあるイングルウッド・ロータリークラブの会

員、柳澤育代さんです。

ニューヨークの医療機関は、9.11の同時多発テロ以来、長期のPTSD（心的外傷後ストレス障害）への治療に対応した経験とノウハウがあります。この点に注目したイングルウッド・ロータリークラブは、郡山西ロータリークラブと協力して、被災者の心のケアを中心とした支援活動を開始。ロータリー財団補助金を申請して、原発事故の影響を大きく受けた地域のメンタルヘルスケア施設4カ所に、ビデオ会議機器を寄贈しました。これにより、同時多発テロで心の傷を負った人びとへのケアを行っているニューヨークのトラウマ（心的外傷）専門医との連携が可能となりました。

3年前に開始されたこの支援活動には、ビデオ会議機器の寄贈のほかにも、絵本「サダコの折鶴」の日本語と英語による制作と配布、被災地の子供たちへの「真夏のサンタクロース」事業、郡山市への折鶴モニュメントの寄贈、ニューヨークの「911家族会」と東北被災者との対話集会など、包括的な支援が含まれています。911家族会の訪日にあたっては、米国日本人医師会とアメリカン航空からの協力もありました。

#### ◆心の痛みをわかちあう

今年7月に被災地を訪れた911家族会団長で、ニューヨーク市元消防副所長であるリチャード・ファーチさんは、ブルックリンの消防署に勤務中、テロに遭いました。消防署員343名が殉職し、ファーチさんも同僚60人を失うことに。事件後、6～7年間は自らの経験を誰にも話せず、精神的に辛い時期を送ったというファーチさんは、自身の経験から、少しでも東北被災者の力になりたいと考えました。彼自身、911家族会の存在を知り、自分のことを語りだしたことで、前向きに生きられるようになったと言います。

交流会の際には必ず、「お互いさま」という日本語で挨拶するファーチさん。東北の被災者も自分と同じだという思いが、この言葉に込められています。この一言で、被災者も心を開き、自分の体験を語るようになります。

それぞれの境遇は異なるものの、同僚や家族を失い、その悲しみを乗り越えるという互いの共通点は、言葉で表せない心の交流をもたらします。同時多発テロから10年以上経った今も、あの日のことを鮮明に思い出するという911家族会メンバーたち。彼らにも、今回の訪問をきっかけに心の変化が起きています。「（東北訪問は）自分自身について考えさせら

れる体験。人生の転機となった。これからは人助けにもっと時間を捧げていきたい」（訪問したメンバー）

#### ◆3度目の訪問で深まる絆

今年で3度目となる911家族会の被災地訪問では、懐かしい人たちとの再会もありました。被災地で心のケアを担当している人たちは、「また会いに来てくれた」と顔をほころばせます。多くの支援活動が終わりつつある中で、遠いアメリカから支援してくれる人がいることは、被災地の人びとの心の支えともなっています。

一昨年には、「真夏のサンタクロース」事業として、911家族会メンバーらが被災地の子どもたちに911記念メダルをプレゼント。以来、子どもたちは「ニューヨークからまた来てくれる」と、とても楽しみにしています。

点と点をつなげるネットワークを持つロータリーだからこそ実現できたこの支援活動。米国日本人医師会、NYマウントサイナイ病院、福島県立医大、米日財団からも支援を受け、被災者の心のケアのために、息の長いサポートを続けていきたいと両国の関係者は考えています。

寄贈された折鶴のモニュメントは、郡山市の開成山公園に、ニューヨークの方角を向いて設置されています。同時多発テロで被害にあった世界貿易センタービルの鉄骨で作られたこのモニュメント。被災地の人びとに一日も早く平和が戻るようにとのニューヨーク市民の願いが込められています。

<https://www.rotary.org/ja/mending-lingering-effects-japans-triple-disaster>

#### ○地区関係

##### 1) 被災地救済支援チャリティーゴルフ大会

「被災地救済支援チャリティーゴルフ大会」が9月17日(火)湘南カントリークラブで開催されます。青木さん・安藤さん・齋藤さんと佐藤真4名で参加して参ります。

#### ○クラブ関係

##### 1) 時計灯のお披露目式について

9月8日(日)里山ガーデンで行われる予定だった時計灯のお披露目式ですが、冒頭でお話ししました台風15号の影響で中止となってしまいました。当日は、15名もの会員にご参加いただく予定となっていましたので大変残念です。日をあらためて行われるかどうかは今のところ未定です。

##### 2) ロータリー公開講座「気候変動と防災」について

10月2日(水)に開催予定の公開講座「気候変動と防災」の募集広告が、タウンニュース9月12日(木)号に掲載されます。先週の例会で、各会員に募集用チラシをお渡しさせていただきました。早速数名の一般の方から申し込みをいただいています。私も先日、旭消防署川村署長を訪問し、公開講座への協力をお願いしたところ、主旨・内容に賛同していただき、消防署員・消防団員・家庭防災員等50名もの参加をお約束いただきました。また、二宮登さんからも40名ほどの参加申し込みがあるとの事です。各会員におかれましては、1人5名を目標に、友人・知人にお声掛けをお願いします。

#### ○今日の卓話

今日は社会奉仕フォーラムです。2016年手続要覧には、「社会奉仕は、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会である。地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり、社会的責務でもある。」と記されています。新しい奉仕活動を模索していく上で、まずは地域のニーズを把握する事が必要です。増田社会奉仕担当副委員長よろしくをお願いします。

#### ■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜瀬谷ロータリークラブ

日時 10月4日(金)→6日(日)

瀬谷区制50周年記念事業

映画「プレスしあわせの呼吸」上映会

式典 13時30分 上映開始時間 14時

会場 瀬谷公会堂講堂\*途中入場不可

日時 10月11日(金)通常例会

場所 eモール

日時 10月18日(金)→20日(日)10時~15時

瀬谷フェスティバルに参加

会場 旧上瀬谷通信施設 はらっば

日時 10月25日(金)→26日(土)地区大会

登録 11時30分 点鐘 12時30分

会場 パシフィコ横浜会議センター

2) クラブ奉仕委員長会議

日時 10月3日(木)午後3時~5時

場所 メモワールプラザソシア 21

#### ■プログラム委員会

田川 富男

1) 次回9/18の卓話変更

予定では体験例会となっておりましたが、

横浜南央RCの半澤 剛会員

卓話「私の職業奉仕観」に変更となります。

場所は二俣川ライフコミュニティーサロン

点鐘12時30分~となります。お間違えなきようお願い致します。

2) ガバナー公式訪問は9/25です。全会員の出席をお願い致します。

#### ■雑誌委員会

柳沢 哲也

ロータリーの友9月号

○横組み

P.3 RI会長メッセージロータリーの活動が家庭生活と競合するのではなく補完し合うような文化を育てていきましょう。

P.9 多治見リバーサイドRC、美濃加茂RC、鈴鹿ベイRC、タイのシーロムRCの4クラブで、大規模な補助金事業の実施。

P.12 ロータリーの友の66年間の歴史が載っております。今回で801号です。

○縦組み

P.4 ラグビーに関するスピーチ。W杯まで1ヶ月を切り、盛り上がってきました。ラグビーについて詳しくない人でも分かりやすい記事です。

P.21 吉原会員投稿の川柳

赤チンが語る昭和の運動会

いつも素敵な川柳ありがとうございます！

#### ■ニコニコBOX(会員敬称略)

佐藤 真吾/①地区インターアクト委員長広瀬様、当クラブへようこそ。②本日は社会奉仕フォーラムです。増田社会奉仕担当副委員長よろしくをお願いします。

大川 伸一/①先日の台風15号、風の強さにびっくりしました。相鉄が長く止まったので、病院は昼過ぎまでガラガラでした。②増田さん、フォーラムをよろしくをお願いします。

増田嘉一郎/本日は社会奉仕フォーラムです。ご意見ををお願いします。

吉原 則光/夏ばて、夏かぜでダウンしてしまい、数回例会を欠席しました。今日は増田さんの卓話、しっかり聞くつもりでいます。よろしくをお願いします。

田川 富男/増田さん、社会奉仕フォーラムよろしくをお願い致します。

安藤 公一/①増田さん、本日の社会奉仕フォーラム宜しくをお願いします。②台風15号の被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

柳沢 哲也/5分間情報もあり、じっくりロータリーの友を読みました。結構おもしろいネタが多く書かれている事に気づきました。

岡田 隆/①広瀬様、ようこそ。②皆様、暑い日が続いております。お体お気をつけ下さい。



1) 本日は、社会奉仕フォーラムということである。社会奉仕には、決議 23-34 とか、決議 92-286 とかという理論的な問題もある。しかし、今年度活動計画を立てる時に調べてみたら、継続的に行われていたプロジェクトは、区民祭りへの参加と、チャリティコンサートの手伝いの2つであり、実質1つしかない。新たなプロジェクトの立ち上げも考える時期ではと思えた。そこで、このフォーラムの機会を使い、当クラブの社会奉仕として、具体的な活動を考える機会とすることにした。

まず、昨年の7月から今年の6月迄の1年間の「ロータリーの友」誌の「ロータリーアットワーク」に掲載された記事をリストアップした。その中で、周年行事、職業奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、災害支援、ポリオ募金、ガンセミナーを含めた医療相談を除いたものが、当クラブの社会奉仕として取り上げる対象となると考えた。これから、全国のクラブで行われた活動を紹介するので、その中で当クラブの活動として取り上げたいという活動があれば、私が話している途中でも構わないので、積極的にご意見を出していただきたい。お配りしたアンケート用紙に記載していただいてもいい。準備や人手がかかりそうなものは簡単に紹介し、なるべく楽そう簡単と思われる活動を強調して紹介していくことになるが、来年度の地区補助金事業として取り上げることも考えられるので、費用のことは考えないでもいいのかもしれない。お手元のアンケート用紙をレジュメとしても使い、これに従って紹介していく。

2) まずは、人道的支援活動である。障害者や養護施設、要介護者施設等施設への支援活動がある。これには、

(1) 施設の植樹(7月号)、花や野菜の植栽(8月号)がある。

(2) 次に特別支援学校の生徒の作品を展示・

販売(10月号)、障害者施設の製品販売イベント(11月号)、余った食材を子ども食堂やひとり親家庭への配給(12月号)、障害者福祉センターのバザーへの参加(1月号)、名古屋城へ車椅子の寄贈(2月号)、お茶を生産している施設へお茶の乾燥機の寄贈(2月号)、医療センターへの車椅子の寄贈(2月号)、施設の子ども達へのiPad(タブレット)の寄贈(3月号)、在宅要介護者へのベット大のバスタオルの寄贈(1月号)、児童養護施設の卒園生にスーツの寄贈(3月号)等がある。

(3) 障害者らへの支援としてスポーツやレクリエーションの場を提供する活動に、床上カーリング大会(8月号)、レゴランドジャパン見学(8月号)、車いすバスケット大会(9月号)、桃狩り(11月号)、ボッチャ大会(12月号、6月号)、森林教育(1月号)、街を散策(1月号)、発達障害児親子の化石採集(2月号)等がある。いくつか記事を紹介する。

①障害児・者支援イベント社会福祉フェスティバル(東京都江東RC、11月号)

②ボッチャでパラリンピックを目指せ(福山RC、12月号)

③名古屋城に車いすを寄贈(名古屋城北RC、1月号)

④児童養護施設の高校生支援～

7施設にiPad寄贈(小倉中央RC、3月号)いずれも補助金を使うことになるが、車いすの寄贈は大分費用がかかりそうであり、iPadの寄贈なら手頃ではないだろうか。

昨年度は、当クラブも障害者の施設からお弁当をとっていたが、空容器の処分手段がないため中止となってしまった。横浜瀬谷RC、横浜和泉RCなど例会の食事を障害者施設からとっているクラブは他にもあり、障害者、要介護者施設や障害者らへの支援活動をしているクラブは多い。

「その他」の例である。

⑤「ヘルプマーク」の普及促進のためバス会社へステッカーを贈呈(岡山南RC、4月号)。

ヘルプマークは、マタニティマークも含めて、電車やバスの優先席のステッカーに書いてあるが、ヘルプマークに限ることなく、何かのステッカーを贈るというのは、手軽そうだ。また、ロータリーのイメージアップにも繋がりそうで、考えられるのかもしれない。検討の余地はあるだろう。

⑥卒園生を送る会として、卒園生にスーツを贈る(伊勢崎RC、5月号)

当クラブでも、社会奉仕活動として、養護

施設の入所者に成人式の写真を贈呈してきていたが、三善さんが退会した時から行われていないのであろう。有償で依頼し、復活さすということも考えられるのかもしれない。

#### ⑦障害者支援を行う人への奉仕

(秦野名水 RC、12月号)。

視点を変えて、地域で障害者支援を行う人達に対する「あなたの心に癒しの桃」というプロジェクトがある。癒しの時間のプレゼントというのもしゃれている。

#### ⑧補助犬と暮らす人が安心して生活できますよう (吹田 RC、3月号)。

補助犬(盲導犬、介助犬、誘導犬)に関しては、3件の記事がでていたが、いずれも、会員の理解を先行さす必要がありそうだ。また、面白そうではあるが、どのようにプロジェクト化していくかは難しいところもあるだろう。

その他という欄には、他の分野を含めて候補があれば記載しておいて欲しい。

### 3) 次に社会的活動を紹介します。

#### (1) 多いのが清掃活動である。

昨年の地区大会で講演された千玄室氏は、清掃奉仕は最もロータリーらしい活動だと言われていた。清掃活動だけを目的とする公園の清掃とか、海岸の清掃というのもあるが、多くは、他の目的をプラスしている。

モラル川柳コンテスト(8月号)、不法投棄禁止の標語募集(8月号)、地域の歴史を学ぶ(9月号2件、10月号3件、1月号1件、2月号3件、4月号1件、5月号1件、計11件)等である。清掃奉仕は、ロータリーらしい奉仕といわれる所以か。

当クラブもガールスカウトが主催する大池公園までの清掃活動に参加しているが、私が以前参加した印象では、ゴミの量は減っており、主催者であるガールスカウトの広報活動、スカウト募集活動という面が強いのではという印象をもった。当クラブにとっても、場所を変えて新たに取り上げるなら、広報活動としての意味をも考えることになろう。先般公共イメージ委員会が実施したアンケートでも、年2回横浜旭 RC のロゴ入り T シャツを着て駅周辺での清掃活動をするというのが記載されていた。有力な候補となりそうだ。

#### (2) 他の目的をプラスしたものを紹介する。

#### ⑨地域の歴史散策とまちかど清掃

(名古屋昭和 RC、9月号)

#### ⑩不法投棄禁止の標語募集と看板設置

(北松浦 RC、8月号)。

不法投棄されたゴミが4トントラックいっば

いというのには驚かされる。

(3) 環境整備活動としては、植樹が多い。桜の名所で苗を植樹というのは、2件ある(8月号、3月号)。水源地のブナの植樹も2件ある(11月号)。あじさい祭りでのあじさいの植樹(10月号)、クビアカカマキリ駆除(11月号)、野鳥の森の保護活動(2月号)、水路に花を植栽(3月号)、公園に河津桜の植樹(6月号)などがある。

#### ⑪駅前花壇で道行く人に安らぎを

(千厩(せんまや) RC、11月号)。

横浜田園 RC も、藤が丘駅前にバラ園を開設しており、上皇后様の名前のついたバラも植わっているそうである。毎年2回維持管理に会員全員が丸1日をつかい、その後親睦の機会にもなっているようである。

#### ⑫地元の山の標識とベンチを新たに設置

(荏田 RC、2月号)。

#### ⑬⑭ブナの植樹

(足柄 RC9月号、諏訪湖 RC)。

横浜 RC も横浜市の水源地で毎年植樹をやっていると聞いている。

(4) 街の活性化、(5) 地域貢献活動は、記事の内容からでは、両者を区別しがたいものもあるので一緒に紹介する。

特産品である杉材の家具の寄贈(8月号)、クラシックカー・ラリー(チャリティーで社会福祉協議会への寄附、8月号)。

#### 地域活性化コンテスト

(高校生が具体的活動を計画、12月号)。

フットサル大会(7月号)、

ソフトミニバレーボール大会

(参加者は高校生から73歳、12月号)、

群馬よさこい祭りへの奉仕(3月号)、

婚活パーティ(3月号)、

マザーズ・サッカー大会(5月号)、

交通安全うちの配布、(8月号)、

交通看板清掃(5月号)、

振り込め詐欺注意キャンペーン(松戸西 RC、松戸祭りで、1月号)などがある。

#### ⑮ストップザ交通事故(根室西 RC、3月号)

横浜瀬谷 RC では、警察署と消防署に懸垂幕を贈呈している。今なら交通事故対策としては、高齢者の免許返上キャンペーンも関心が高いのかもしれない。

#### ⑯ロータリーの縁結び

婚活パーティである。5クラブで実施したようであり、ある程度の規模を要するのであろう。

(6) 地域への情報提供

卓話の公開である。

⑰堀江貴文氏講演会（広尾 RC、2月号）

毎例会行っている卓話で、社会的に関心が高いテーマを取り上げるときに、あるいは社会的に関心が高い人が卓話者となったときに、一般に公開するものである。外部卓話に限ることなく、会員卓話でもありうるであろう。

横浜あざみ RC でも、昨年度 3 回公開卓話があった。外交評論家による「プーチンのロシアと女性」という女性会員の多い横浜あざみ RC らしいテーマ、証券会社と生保会社にお勤めの会員 2 人による「人生 100 年時代の備え」、タイの洞窟の救出に出動した人による「タイ・タムルアン洞窟事故の救出劇」の 3 本である。

当クラブでも、10 月に災害対策委員会の担当する横浜地方気象台の中根氏の卓話が一般

公開となる。社会奉仕の立場からも協力することになる。

4) 以上、全国各 RC で行われている社会奉仕を概観した。これをヒントに、皆さんの知り合いを含めて援助を必要としているところがあれば、あるいは、当クラブの社会奉仕プロジェクトとして取り入れたいと思うものがあれば、ご教示いただきたい。

ご意見をいただくか、アンケートに記載していただければと思う。奉仕プロジェクト委員会で検討していきたい。

■次週の卓話

9/25 ガバナー公式訪問

轟 淳次様

（今年度地区ガバナー、川崎マリーン RC）

週報担当 内田 敏

---

2019-20 年度 横浜旭ロータリークラブ 第 6 回理事会議事録

令和元年 9 月 4 日 19 時～

場所：ゆうや 裏横

出席者：佐藤真吾、田川富男、北澤正浩、安藤公一、五十嵐正、新川尚、二宮麻理子、目黒恵一、大川伸一

【報告事項】

各委員会からの活動報告は本日のクラブ協議会の内容に準じる

【協議事項】

1. 表彰について（継続）：表彰状とメモリアルボックスを決定
2. バナーデザインについて（継続）：デザイン案の回覧・投票結果から決定  
→1.2. につきオクトンに発注
3. 情報集会について（継続）：集会のテーマとして、会長から「ロータリーを語ろう（楽しく）」を推奨

【審議事項】

1. 移動例会について：10/2（水）に開催するロータリー公開講座「気候変動と防災」を移動例会とする（会場；サンハート）
2. メークアップ対象行事について：創立 50 周年記念事業として行った里山ガーデンへの時計塔贈呈。贈呈式（9/8（日）12：00～12：30）をメークアップとする
3. 体験例会（9/18）について：現在、卓話者を打診中。卓話者がいない場合は戦略計画をテーマとして会長フォーラムを行う事を提案。→検討継続として期日までに決定する
4. 地区大会の登録：実数か全員登録かを審議→実数登録を優先とする

【その他】

1. 今後の卓話予定について：  
11/13（事業 PR）；土地家屋調査士 西田氏予定  
11/27（外部）；旭警察署長予定  
以降の日程は 3/11（事業 PR）、3/25（外部）、4/22（体験例会、外部）→順次決定していく
2. 戦略計画について：審議事項の 3 を参照

大川伸一 記